

所 信 表 明

令和3年第3回定例会

令和3年10月

士別市長 渡辺 英次

〔はじめに〕

令和3年士別市議会第3回定例会にあたり、議員各位及び市民の皆様を前に、市政運営に向けて所信の一端を申し述べる機会をいただき、感謝申し上げます。

私は、先の市長選挙におきまして、市民の皆さまから温かいご支援をいただき、士別市長の重責を担わせていただくこととなりました。負託をいただいた4年の任期のなかで、「市民が豊かにいつまでも安心して暮らせるまち・士別」を創るため全身全霊で取り組んでいく覚悟です。

私は、この士別市に生まれ、育ち、士別市の皆様をはじめとする多くの方々に支えられ、成長させていただいてきました。

また、市議会議員として、前任の牧野市長による市政に関わり、まちづくりの大きな前進を強く感じておりました。

私としても、これまで本市の礎を築いてくださった方々への感謝を忘れることなく、市民・職員と一丸となり政策に取り組み、選挙中に多くの市民から寄せられた「士別を変えてほしい」という想いを強く持つとともに、松ヶ平候補を支持された多くの方々や投票に行かれなかった方々の思いも真摯に受け止め、市政の舵取りを担わせていただく決意です。

本市は、他の市町村と同様に急激な人口減少や少子高齢化が進展しています。市外への人口流出対策、少子化対策、市内経済の活性化など課題は山積しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、市内の経済は極めて厳しい状況にあります。この状況を的確に把握し、抜本的な解決に向けて、必要な対策を講じます。

これまで、私は仕事でもイベントでも、自ら現場に入って他の参加者と同じく汗をかいてきました。市長となっても現場の声をよく聞き、士別市を一つにまとめ、愛する士別市の発展のため、新しい市政の流れを創出していきます。

私にとりましては、初めての市政運営となることから、議員各位、市民の皆様はもとより、経済・産業、教育・医療・福祉、文化・スポーツなど、あらゆる団体・企業との連携を強化しながら、本市の「まちづくり」を進めてまいりたいと考えておりますので、どうかご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

〔市政運営の基本的な考え方〕

まず、私の市政運営の基本的な考え方についてです。

現在は、長期のデフレ下であり、かつコロナ禍により市内の経済は極めて厳しい状況にあります。

地域経済を好循環させるためにも、地域外から「外貨」を稼げるよう産業力の強化と、国

や北海道との密接な連携のもとに様々な取り組みを推進し、元気で活力あるまちづくりをめざします。

「財政健全化実行計画」の達成に向けては、検証を行いながら経済の活性化に向けた取り組みを進めます。

元気なまちづくりは、「元気な市役所づくり」から始まると考えています。

まずは、職員一人ひとりの意見を聞きながら、互いの理解を深め、信頼関係を築き上げ、働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、職員と市民の英知を広く結集し、市政に反映できるよう取り組みを進めます。

次に、私が市政運営にあたって大切にしたい8つの基本的な視点について、項目ごとに述べさせていただきます。

〔市内経済の活性化による財政基盤の強化〕

活力ある士別市を持続的に発展させていくためには、将来を見据え効率的な市政運営を行っていく必要があります。引き続き、限られた財源のなかで、重要施策を優先しながら、持続可能な行財政運営の実現をめざします。

まずは、「財政健全化実行計画」の検証を行いながら、必要な財源の確保に努めるとともに、地域内の「ヒト・モノ・カネ」の流れを調査することが必要であり、この結果をもとに市内経済を循環させる仕組みづくりを進めます。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. 必要とされる市民サービスの実現に向けては、国や道との密接な連携により、補助事業の活用や財源を確保する取り組みを進めます。
2. 昨年から続く新型コロナの感染拡大による「緊急事態宣言」や、「まん延防止等重点措置」の影響を受けた事業者は多数おられます。

まずは、市内の事業者の状況把握に努めるとともに、国の地方創生臨時交付金などの財源措置も視野に事業者支援の迅速化を図ります。

3. 「住宅新築・住宅改修助成事業」については、制度創設から12年が経過し、事業廃止の方向性が示されていましたが、市内経済への配慮や市民の住環境向上に資することを踏まえ、市内経済の循環も視野に入れた新たな助成制度を構築します。
4. 地域外からの「外貨」獲得にあたっては、産業の強化が必要と考えており、官民で連携しながら「稼ぐまち」に向けた検討を進めます。

また、本市の基本施策である合宿、試験研究のほか、観光など交流人口を増やす取り組みを一層推進します。

5. 市民の声の聴取については、これまで実施されている「市長とのふれあいトーク」や「こども夢トーク」、「市長への手紙」を継続するほか、直接、市民の皆さまから現場の声を伺える新たな仕組みを創設し、まちづくり基本条例の原則である「市民が主役のまちづくり」

を推進します。

6. 職員一人ひとりが、担当部署のプロフェッショナルである意識をさらに高め、市民サービスの向上に向けた事業提案や事務事業の見直し提案など、さらなるボトムアップが可能となる仕組みを創設します。
7. 地域経済を活性化するために、資金を地域内で循環させる仕組みづくりが必要となります。その実現のため、一つの方策としてサフォークポイントなどを地域通貨として活用することが重要と考えます。まずは、従来の経済循環構造を見直すために「地域経済循環分析」を行い、市民と共有しながら市内経済の「地域内循環」の向上をめざします。

〔魅力の発信強化と観光・合宿受入拡大〕

「羊と雲の丘」をはじめ、「天塩岳」、「岩尾内湖」、「つくも水郷公園」、「まちなか交流プラザ」など、本市の観光スポットなどを訪れる観光客をはじめ、合宿や大会で市内に滞在するアスリート、事業所や試験場などを訪れる出張者など、様々な目的で訪れる方がおり、本市は交流人口の多いまちです。

今後も、本市にとって経済の活性化などにおいて交流人口を増やしていく必要があることから、魅力の発信を強化し、さらなる拡大をめざします。

合宿の受入れ拡大に向けては、新型コロナウイルスによる様々な制約や制限のなかでも、感染拡大防止に取り組みながら来市いただいていた実業団連合や常連チームとの関わりを大切にするとともに、一層の情報発信や人脈形成を図りつつ、新たなチームの招致に努めます。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. まちづくりの推進や特産品などの情報発信強化のため、自らトップセールスを行いながら、魅力あるまちづくりを進めます。
2. まちの個性である「羊のまち」「合宿のまち」「試験研究のまち」の強化に向けて、各企業や団体などと情報交換するなかで、より連携を深めるとともに、将来を見通した受け入れ態勢の強化に向けて、必要な支援を検討します。
3. 「水とみどりの里」の資源である天塩岳や天塩川などの魅力の発信を強化と、イベントの企画などにより、交流人口の拡大に努めます。

また、近隣市町村との連携をさらに強化し、観光入込客の増加を図りながら、地域の活性化をめざします。

〔子どもや高齢者、障がいのある方が暮らしやすいまちへ〕

子どもや高齢者、障がいのある方など、誰もが暮らしやすいまちの実現をめざしていくためには、公的なサービスの充実はもとより、社会福祉協議会をはじめ、関係団体や事業者、市民の皆様が連携・協働し、支え合い助け合える地域福祉の構築が必要です。

このため、当面する施策として、

1. 「土別市ボランティアセンター」や「地域助け合い活動協議体」などと連携しつつ、市民ニーズにマッチした買い物支援や除雪支援などに対応可能なボランティア制度の確立を図るとともに、ボランティアに興味がある市民が制度に参加しやすい体制づくりを進めます。
2. 「都市公園遊具」については、計画的に点検・更新を行うことで、子どもが安全に公園を利用できるよう環境づくりを進めます。
3. 「土別市福祉のまちづくり条例」及び「土別市障がい者福祉基本計画」に基づき、障がいのある方が、いつまでも住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らすことのできるまちづくりを進めるため、「土別市障がい者福祉実行計画」を着実に推進します。
4. 郊外部にお住まいの高齢者等の冬季間における安全で安心な生活を守るため、市が市街地に所有する利用可能な建物を一時的な住まいとして提供するなど、地域の実情にあわせた施策を構築します。
5. 公共交通については、「土別市地域交通網形成計画」に基づき、次世代を見据えた仕組みづくりを進めながら、子どもから高齢者まで利用ができる地域特性に応じた利便性の高い交通システムの構築をめざします。

〔学力向上への支援と魅力ある学校づくり〕

学校教育においては、「新学習指導要領」や「学校における新しい生活様式」を踏まえ、子ども達の「生きる力」を着実に育むとともに、安全・安心で充実した環境と学校・家庭・地域の連携の下、創意工夫にも努めながら、学力・体力の一層の向上を図ります。

また、今後の地方創生においても期待されている「高校の魅力化」に向けて、市内2校それぞれの特徴を生かした高校づくりを支援・推進します。

このため、当面する施策として、

1. 学校教育においては、家庭の経済状況によって子ども達の学びに格差や不利益を生じさせないよう、必要な支援に努めるとともに、学力向上のための環境づくりを進めます。そのためにも、学校や教職員の研究・研修の成果を発揮する取り組みのほか、国や道の制度充実も求めながら教職員の体制強化を図り、「個別最適な学び」の実現をめざします。
2. 土別東高校においては、引き続き体験学習などの独自の教育活動を推進するほか、小規模校としての特色と一人ひとりを大切にする学校経営を継続します。

また、土別翔雲高校は、部活動や卒業後の進路など様々な魅力と可能性を有しています。今後の高等学校のあり方として求められている「高校の魅力化」に向けても、市や教育委員会として積極的に連携・支援に努めるとともに、幅広いPR等によって生徒数の確保を図り、地域の学校を守ります。

3. 中学校部活動について、複数校が一つのチームとして大会に参加する「合同チーム方式」のほか、希望する種目の部活動が廃部となった場合に、その種目のある学校を拠点として

部活動を行う「拠点校方式」を令和元年度から試行しています。こうしたなかで、国が示している令和5年度からの「休日における部活動の地域移行」も見据え、士別市スポーツ協会や各競技団体・文化団体との連携の下、生徒が希望する活動機会の確保・拡充を図ります。

4. ふるさと士別への愛郷心を醸成し、将来のまちづくりを担う人材育成を進めるためにも、地域内の様々な個人・団体の協力も得ながら体験活動を充実するほか、合宿チームや立地企業の方々をはじめ、本市と関わりのあるアーティストなどによる体験的学びについても充実を図ります。また、郷土芸能に触れる機会やアウトリーチ活動などによって、心豊かな子どもたちの育みに一層努めます。

〔地域性を活かした環境対策と企業誘致・移住政策〕

国は、気候変動問題に長期的な視点で取り組むため、「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす」ことを表明しました。北海道も、「ゼロカーボン北海道」を掲げ、「省エネルギー」や「新エネルギー」の促進に向けて具体的な取り組みを検討しており、本市としても脱炭素化と市内経済循環の促進による、持続可能な地域づくりをめざします。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. 道内自治体でも屈指の面積を誇る本市では、森林面積が74%を占め、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは高いものの、導入するための課題も多いところです。
しかしながら、世界の潮流は持続可能なエネルギーへの転換であり、「ゼロカーボン北海道」を提唱する道と歩調を合わせた施策の展開を進めます。
2. 起業するためには、多岐にわたる相談が必要となるため、「ワンストップ相談サービス」が必要であると考えます。起業を志す方が安心して相談できる窓口を立ち上げ、支援体制を強化します。
3. 企業誘致については、積雪寒冷や広大な土地を有する地域特性を生かした誘致を進めるため、提案活動を強化するとともに、現在の立地企業と連携をさらに深化させます。
4. 移住政策については、「移住ナビデスク」の利用を促進するとともに、多地域居住に向けた支援制度を検討するなど、様々なニーズに対応した柔軟な政策を構築します。
5. 若者や女性などを中心に新しい意欲・チャレンジを応援する仕組みを構築し、起業を促進するとともに、すべての人が実力を発揮できる「元気なまちづくり」をめざします。

〔社会インフラの維持と防災への備え、公共事業の確保〕

社会基盤の維持については、「士別市公共施設マネジメント基本計画」に基づき取り組みを進め、多発する自然災害等の危機事案に対しては、迅速かつ的確な対応が求められることから、危機管理及び防災・減災体制を強化します。

公共事業の確保に向けては、国や道などとの情報交換を密にしながら、予算の確保をめざします。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. 新たな国営事業の実施や現在実施されている「道営中士別地区農地整備事業」の地元受注機会の要請を継続するほか、各種補助事業を効果的に活用し、地域インフラの整備など事業量の確保を図ります。また、建設業などに従事する担い手育成と発注・施工時期等の平準化に努めます。
2. 「士別市強靱化計画」に基づき、大規模自然災害に備えた強靱なまちづくりを進めるために、社会インフラの整備を計画的に実施し、長寿命化を図ります。
3. 社会教育施設については、効率的な運営と効果的な事業実施をめざし、多角的な視点のもとに機能の見直しや複合化等を図り、多様な市民ニーズに対応するよう学習環境を充実します。スポーツ施設は、市民の生涯スポーツやスポーツ合宿などにおいて必要な財産であり、施設の最適化、効率化、長寿命化など総合的な検討を行い、市民がスポーツに親しむことができる環境整備を進めます。
4. 「マネジメント基本計画」に基づく公共施設の最適化は、避けて通れない行政課題ではありますが、施設のあり方については、広く市民の声を聴取するなかで判断し、市民に理解を得られるよう努めます。

【安心できる医療・介護の体制強化に向けて】

高齢者などが住み慣れた地域のなかで安心して暮らし続けていくためには、市立病院を核とした地域医療を守りつつ、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援サービス」などが切れ間なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の体制強化が重要です。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. 「地域医療構想」を踏まえ、士別市立病院を中心とした医療提供に努めるほか、「地域医療連携推進法人」による名寄市立総合病院との連携強化と機能分化を進めるとともに、士別地域の民間医療機関や介護事業所との連携強化を図ります。
2. 地域の人口が減少する一方で、後期高齢者は増加しており、入院期間が長期化することが予想されることから、地域の特性に応じた安心して入院できる環境をつくります。
また、現行の「地域包括ケアシステム」の強化に努め、退院後の生活を支えていきます。
3. 令和6年に開始される「医師の働き方改革」に向けた医師確保をはじめとして、地域の医療需要に的確に対応できる人材の確保・育成に向けて支援します。
4. 介護などを必要とする方に、必要なサービスが提供できるよう、現状の介護人材確保対策の検証を行いつつ、関係機関と連携するなかで、より効果的な方策を講じ、介護サービスの待機者解消をめざします。
5. 在宅医療の充実に向けては、高齢化などによる需要の高まりが見込まれることから、介

護事業所や診療所、薬局などとのネットワーク化を進めます。

6. 新型コロナ対策については、今後も感染状況に応じた受け入れ態勢を構築するとともに、治療や検査体制の維持・強化に努め、市民が安心できる医療提供体制を整備します。

〔農・林・畜産業の支援と特産品の開発促進〕

本市の農業・農村をめぐる情勢は、農家戸数や農家人口減少のため、生産に必要な農村環境やコミュニティの維持などが懸念されるところです。

農業・農村が持続的に発展していくためには、農業の原点である「土づくり」や生産基盤の整備による農産物の品質・収量の向上が求められます。このため担い手の育成・確保による「人づくり」や活力ある「農村づくり」が大切であり、本市の経済を牽引している農業者の所得向上をめざすことが必要です。

また、森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適切な森林施業の実施や保全により、健全な森林資源の維持造成を推進します。

これらの実現に向けて、当面する施策として、

1. 国や道の事業を積極的に活用し、特に現在取り組んでいる「道営中士別地区農地整備事業」の事業推進、予算の確保・充実に努めます。
また、農業生産基盤整備の推進・強化については、地域要望を踏まえ関係機関との連携を図ります。
2. 農・林・畜産業の担い手確保・育成については、「地域おこし協力隊制度」などの活用や「Iターン」・「Uターン」希望者の情報収集に努めながら、農業後継者や新規参入者に対する支援を行います。
3. 本市において必要とされる農業労働力やICT技術について、関係機関と協議・連携を図り、農業の労働力確保と作業の効率化をめざします。
4. 6次産業化に関しては、情報発信や関係機関との連携、またHACCPに沿った衛生管理対応についての研修会開催などにより、新たな取り組みを支援するとともに、特産品についても開発促進を図ります。
5. 「森林環境譲与税」を有効活用し、森林整備の促進、人材育成・担い手確保及び地域木材利用の促進などの普及啓発を通して、森林の管理を計画的かつ効果的に進めます。

以上、市政運営につきまして、私の所信の一端を述べさせていただきました。

就任後、早速、行政各部局から「事務引継ぎ」事項を中心に懸案事項の説明を受け、差し迫った行政課題が山積していることを実感いたしました。

こうした状況のなかで、課題解決に向けてリーダーシップを発揮していくことが私の使命であります。

今後は、市民の皆様からも幅広いご意見をいただき、私の基本政策に基づいて、具体的な施策や事業を構築し、現行事業との検証・融合を行いながら、令和4年度からの「士別市まちづくり総合計画」の次期実行計画・展望計画を策定し、計画的に推進してまいります。

令和2年以降、わが国の社会経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって未曾有の停滞にさらされ、感染拡大防止のために経済活動の抑制を余儀なくされました。

私は、感染症対策と、その感染症に起因して低迷する地域経済の回復を最優先課題とした市政運営を行ってまいります。

極めて厳しい行財政運営を避けて通ることができない状況ではあるものの、職員と一丸となって、何よりも市民から信頼され、元気な士別をめざすとともに、「士別に生まれて、育て、学んで、働いて、暮らして良かったと思えるまち」の実現に向けて、市政の課題の一つひとつ丁寧に、全身全霊、取り組んでまいります。

どうか、議員各位におかれましても、市民の皆様と同様、格段のご支援とご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。